

未来ラボ「祭×SDGs」提案書

— 多文化共生・DEI 推進に向けた共創型プログラム —



座学と阿波踊り体験で、あなたがひらく共創の未来！

日本の歴史と経営哲学から SDGs の視点を学び、

阿波踊り体験で“共創のリズム”を体感する 90 分プログラム。

■ご提案の背景

大学におけるグローバル人材育成、留学生支援、多文化共生教育は、国際社会で活躍できる学生を育成するうえで重要性が増しています。

一方、・異文化コミュニケーションの不安

・学生同士の距離感

・相互理解の難しさ

など、実践的な学習機会の不足が課題として挙げられます。

本提案では、日本の「祭」が持つ**共創・共助・多様性の力**を、

座学と体験ワークを組み合わせることで、

学生が“楽しみながら深い学びを得られる”プログラムをご提案いたします。

提案者：民族舞踊聚団 NIPPON 代表：望月登喜子

舞踊団 HP

講座 HP

代表プロフィール



I) プログラム概要

① SDGs × 日本文化 × 未来共創の視点

日本の祭は、古来より「多様な人が協力し合う場」として発展してきました。

本講座では、祭文化と日本の経営哲学に内在する**共助・循環・コミュニティの知恵**を SDGs と関連づけて解説します。

学べる主なテーマ

- ・多文化共生と SDGs の接点
- ・地域を支えてきた日本の共創文化
- ・非言語コミュニケーションの重要性
- ・現代組織に求められる協働の姿

② DEI 推進の観点(大学教育との親和性)

阿波踊りの特徴には、DEI 教育に通じる要素が多くあります。

- ・誰でも参加できるオープン性
- ・役割の多様性(鳴り物・踊り・リードなど)
- ・上下関係を越えた協働
- ・リズムにより“言語を越えた交流”が生まれる

★体験を通じて、学生は「**多様性があるからこそ、協働が生まれる**」という価値を身体知として理解します。

③ グローバル人材育成への活用

アジア各国メンバーから成る「アジア連」での活動実績から、異文化コミュニケーションの実例も紹介。
留学生・日本人学生が自然に混ざり合う空気をつくれます。

II) プログラム構成(90 分) ※講座概要→[PDF](#)

1. 座学 20 分

・導入

- ・SDGs の現在地
- ・多文化共生／DEI の課題
- ・日本文化に内在するサステナビリティ

・座学

- ・祭文化の役割と歴史
- ・共創／循環の思想
- ・異文化コミュニケーションの実例
- ・SDGs との関係

2. 阿波踊り体験ワーク(50 分)

- ・リズムワーク
- ・ペア／グループでの協働体験
- ・踊りの違いから“多様性”を体感
- ・ミニ発表

3. ふりかえり(20 分)

- ・今日の学びをどう実践に活かすか
- ・学生同士の協働のヒント
- ・大学の国際交流活動への応用

★未来ラボ！「祭×SDGs」シリーズ：盆踊り×SDGs/和太鼓×SDG/Asian Dance×SDGs 等、開催予定

★Optionで、30 分程度、日本の踊り・和太鼓・AsianDance などのパフォーマンス可

Ⅲ)期待できる教育効果

- ・異文化理解の深化
- ・留学生 × 日本人学生の交流促進
- ・心理的バリアの軽減
- ・主体的なコミュニケーション能力の向上
- ・DEI の本質を“体験として理解”
- ・国際教育プログラムや授業への展開が可能

Ⅳ)実施形式 ※・実施人数:20～200 名規模【カスタマイズ可能】

- ・大学の特別講義
- ・国際交流イベント

- ・オリエンテーション(留学生・新入生)
- ・学部授業(教養科目・国際科目)

V)実施概要

1.実施団体:民族舞踊聚団 NIPPON 代表:望月 登喜子

- ・海外公演・国際文化交流多数。
 - ・アジア各国のメンバーによる阿波踊りグループ「アジア連」を発足。
- “踊りは世界の共通言語”をテーマに、多文化共生・異文化交流・SDGs 教育に取り組む。

舞踊団 HP



講座 HP



代表 Profile



〒東京都豊島区巣鴨3-34-3-402 (株)サンプロデュース内

2.実施費用

講師1. 舞踊指導1の2名体制

20 万円(消費税別)※交通費・資料代など要相談)